

— 明治座5月公演 —

あでやかな紅枝垂の桜、
どんな世の中になってもあの花だけは、
咲き続けますのやろな。

細雪

次女・幸子
一路真輝

長女・鶴子
浅野ゆう子

四女・妙子
水夏希

2019年
5月4日(土)~27日(月)
明治座

三女・雪子
瀬奈じゅん

製作＝東宝

今 春来たりて、新たなる花々咲き競う...



《次女の夫・貞之助》
葛山 信吾

《長女の夫・辰雄》
磯部 勉

《板倉》
川崎 麻世

《御牧》
今 拓哉

《啓三郎》
太川 陽介



大橋 芳枝



未沙のえる



仲手川由美



松本好永



西川瑞生

演出補:砂川幸子 装置:石井みつる 照明:塚本 悟 ヘアメイク:宮内宏明 衣裳:伊藤新治・大戸美貴・坂東智代(東宝舞台) 音楽:橋場 清 効果:呉東 彰
振付:西川瑞生 邦楽:米川敏子 方言指導:大原稔子 企画:米久保 宏 プロデューサー:渡邊 隆・荒田智子・黒瀬朝子 / 監修:酒井喜一郎 / 製作:東宝

2月23日(土) 10時より 3月1日(金) 17時まで

明治座 〆-3 倶楽部
《詳細と入会方法は明治座ホームページへ》

会員 限定 インターネット
先行予約開始

《電話先行予約》3月2日(土) 10:00~17:00

開演時間 11:00 / 16:00

料金(税込) S席 13,000円(1階席・2階前方席)
A席 9,000円(2階後方席・車いすスペース)
B席 6,500円(3階席)

2019年 5月4日(土)~27日(月)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
主	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
11:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※6歳以上有料 / 5歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※車いすスペースのご予約は明治座チケットセンターにて承ります。

明治座チケットセンター
(10:00~17:00)

03-3666-6666

10名様以上のグループ観劇
予約受付中!

03-3660-3941

《各種プレイガイドでもお取り扱いいたします》

- チケットぴあ <http://t.pia.jp/>
0570-02-9999 (Pコード: 491-820)
- イープラス <http://eplus.jp/>
- ローソンチケット <http://l-tike.com/>
0570-084-003 (Lコード: 33112)
0570-000-407 [オペレーター対応 10:00~20:00]

- セブンチケット <http://7ticket.jp/g/000884>
- CNプレイガイド <http://www.cnplayguide.com/>
0570-08-9999 [オペレーター対応 10:00~18:00]
- 楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/>
- カンフェティ <http://www.confetti-web.com/meijiza>
0120-240-540 [オペレーター対応 平日 10:00~18:00]

※0570で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHS・IP電話からはご利用いただけません。

一般販売(電話・ネット予約) 3月3日(日) 10:00~
窓口販売・予約引取開始 3月6日(水) 10:00~

インターネット予約 席とりくん 検索
<https://web.meijiza.com/>

明治座

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1
〇浜町駅(都営新宿線)
〇人形町駅(日比谷線・都営浅草線)
〇水天宮前駅(半蔵門線)
地下鉄

儚くも美しい、それはまるで桜のように——。

戦争に向け、大きく時代が変わろうとしていた昭和十年代。それぞれの道を力強く生きる、四姉妹。

大切な人を思う気持ちが、心揺さぶる不朽の名作。

明治座五月公演

細雪

しらゆき

初演

谷崎潤一郎 原作

菊田一夫 脚本

堀越真 潤色

水谷幹夫 演出

（長女・鶴子）
浅野ゆう子



（次女・幸子）
一路真輝



（三女・雪子）
瀬奈じゅん



（四女・妙子）
水夏希



真の美しさは、
時代が変われども：

時代は昭和十年代、場所は大阪・船場。徳川の時代から続く木綿問屋・蒔岡商店。

先代の父から譲り受けた家業の暖簾を守り、格式を重んじる本家の長女・鶴子。分家して神戸・芦屋に住まいを構え、妹たちを優しく見守る次女・幸子。数多の縁談を断り続け、婚期がとおのいていく三女・雪子。ハイカラで活発、手に職をつけて自立の道を切り開いていく四女・妙子。

時代は戦争に向けて大きく動き出している中でも、優雅さを忘れない美しき四姉妹。それぞれの想い、それぞれの人生を歩んでゆく。

そしてついに日中戦争勃発。本家の蒔岡商店は倒産。姉妹たちは自分たちの世界が古き良き時代、すでに過去になりつつあることを感じ始めている。

それでも彼女たちは美しくあることをやめない。散るからこそ美しい、満開の紅枝垂の桜のように…。